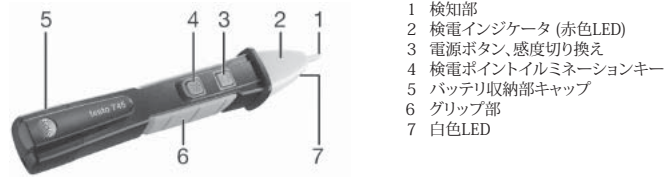




概要

各部の名称



- 1 検知部
- 2 検電インジケータ (赤色LED)
- 3 電源ボタン、感度切り換え
- 4 検電ポイントイルミネーションキー
- 5 バッテリー収納部キャップ
- 6 グリップ部
- 7 白色LED

アイコンの説明

警告! 危険な場所に関する警告です。取扱説明書を参照してください。

注意! 危険な電圧、感電の危険性があります。

カテゴリ II DIN EN 61140 に従った二重あるいは強化絶縁

適合マーク、該当するEU指令の遵守を確認: EN 61326-1 規格による EMC 指令 (2014/30/EU)、EN 61010-1 規格による低電圧指令 (2014/35/EU)

機器は WEEE 指令 (2012/19/EU) に準拠

ご使用の前に

- この取扱説明書では、機器を安全に操作および使用するために必要な手順と情報をご確認いただけます。機器をご使用になる前に、本書をよくお読みいただき、すべての内容に従ってください。本書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。本書は、機器とともに後任担当者に必ずお引継ぎください。
- この取扱説明書の記載事項を守らなかったり、警告や注意を見落とした場合、ユーザーがけがをしたり、機器が損傷することがあります。

安全上のご注意

- 本検電器は、訓練を受けた担当者のみが使用するようになっています。操作にあたっては、作業中の健康および安全に関する従業員の賠償責任保険の条項を確認してください。
- 感電防止のため、直流120V (60V) または交流50V (25V) rms を超える電圧を取り扱う際は、安全対策を行ってください。この値は、DIN VDE における接触電圧の上限です (カッコ内の値は、農業などの一部の分野に適用されます)。
- 本検電器は、グリップ部のみに触れるようにし、インジケータ部を覆わないでください。
- この取扱説明書に記載のないメンテナンス作業は、訓練を受けたサービス技術者のみがを行います。
- 本器に何らかの改造を加えた場合、動作の安全性は保証されません。
- バッテリーが液漏れしている場合、当社のカスタマーサービス部門の担当者が確認するまで、機器の使用を中止してください。
- バッテリー液 (電解液) は強アルカリ性で、導電性があります。酸により火傷する危険性があります。バッテリー液が皮膚または衣服に付いた場合は、直ちに大量の水でよく流してください。バッテリー液が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い、医師に相談してください。

用途

本検電器は、以下の条件および目的で使用するように設計されています。

- 絶縁ケーブル (非接触、非直流接触時) の検電電圧は12~1000Vまで
- ケーブルの破損の検査
- コンセントの極性検査
- 本検電器は、特定の測定範囲でのみ使用でき、低電圧設備の1000Vまでで使用するのためのものです (測定カテゴリ CAT IV 1000)

本検電器は、以下の条件では使用しないでください。

- 電圧の表示がない時、EN 61243-3 の電圧の表示がない場合に準拠し、二極電圧測定器をご使用ください。
- 爆発性の雰囲気中。本検電器は、防爆仕様ではありません。
- 雨またはその他の降水時。感電の危険性があります。

テクニカルデータ

スペックは 23 °C ± 5 °C、相対湿度 80 % 以下の時:

項目	仕様
検電インジケータ	赤色LEDおよびプザー
動作範囲	50 ~ 1000 V (標準設定) 12 ~ 50 V (高感度、電圧50~1000Vでも動作)
周波数特性	40 ~ 400 Hz
動作環境	動作時: -10~50 °C 保管時: -15~60 °C
相対湿度	80 %以下
動作高度	2000 m以下
バッテリー	1.5 V (単4乾電池/IEC LR03) × 2 個
消費電力	約 80 mA
寸法 (WxHxD)	約 155 x 25 x 23 mm
質量	約 55 g
安全規格	EN 61326-1, EN 61010-1
保護等級	IP 67 (IEC 60529)
認証	CE
保証	期間: 2 年 保証条件: 保証書を参照

機器の操作

検電器の電源を入れます。

- > 電源ボタンを短く押します。
- 機器の電源が入ると、動作範囲は50~1000V に設定されています。
- 電源ボタンをもう一度短く押すと、感度範囲が切り換わります。
- 12~50Vの範囲でも、50Vから1000Vの間の電圧も検電できます。
- 赤色LEDがゆっくり点滅したら、機器の準備ができたことを示します。点滅1回は動作範囲が50V~1000V、点滅2回は12Vから50Vです。

検電ポイントイルミネーション

- > 検電ポイントイルミネーションキーを押します。
- キーが押されている間、白色LEDライトが点灯しています。

検電器の電源を切ります。

- > 電源ボタンを押し、そのまま長押しします。
- 自動電源オフ機能: 機能ボタンを押さない状態が3分間続くと、自動的に機器の電源が切れます。

検電の実行

検電前の準備

検電を行う前には、必ず機器に異常がないことを確認してください。

- たとえば、ハウジングの破損やバッテリーの液漏れがないことを目視で確認します。
- 検電の前には、必ず機器が正常に機能することを確認します (既知の電圧源を使用するなど)。
- ユーザーの安全が保証されない場合は、機器の電源を切り、誤操作を防止してください。

検電の実行

検電を行うときは、次のことにご注意ください。

- 検電中の信号は、電圧のタイプやレベルが適用されていることを示すものではありません。
- 検電時の接地導体の位置が、電圧検知に影響することがあります。
- 検電器には、高周波の電子製品 (コンピュータや蛍光管スタータなど) からの干渉を防止するため、複合電子フィルタが搭載されていますが、そのような機器の周辺では、検電誤差が発生することがあります。

検電時には、測定器をケーブルなどの検電対象にゆっくりと近づけてください。

- 検電器が12~50Vの交流電圧を感知すると、赤色LEDが点滅し、プザーが信号を発生します。
- 検電器が50~1000Vの交流電圧を感知すると、赤色LEDが点灯したままとなり、プザーが信号を発生します。

サービスおよびメンテナンス

バッテリーの交換

赤色LEDが点灯したまま、プザーが鳴らない場合は、バッテリーを交換する必要があります。バッテリーの交換は速やかに行ってください。

- > バッテリー収納部を開きます: ネジをゆるめ、バッテリー収納部のキャップを外します。
- > 使用済みのバッテリーを取り出します。
- > バッテリーアイコンに従って、新しいバッテリーを挿入します。
- > バッテリー収納部を閉じます: バッテリー収納部のキャップをはめ、ネジを絞めます。

メンテナンス

この取扱説明書に従って使用している場合、特別なメンテナンスは必要ありません。

機器の保管

- > 検電器を一定期間ご使用にならない時には、バッテリーの液漏れなどによる危険や損傷を防止するため、バッテリーは取り外して保管ください。

クリーニング

- > 湿らせた布と少量の家庭用洗剤で機器を拭きます。

強力な洗剤や溶剤は絶対に使用しないでください。クリーニングの後、機器が完全に乾燥してからご使用ください。

環境の保護

- > 使用済みバッテリーや充電式バッテリーを廃棄するときは、所管自治体の廃棄方法に関する定めに従って処分してください。
- > 本製品を廃棄する場合は、所管自治体の電子部品あるいは電子製品の廃棄方法に関する定めに従って、適切に処分してください。